

予算

平成31年度一般会計予算は

141億3,533万2千円

市民の笑顔あふれる白石の実現へ

平成31年度は、学校教育の充実、子育て支援、移住・定住の促進、および「白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく各種施策に取り組み、第五次白石市総合計画に掲げる「人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市づくり」を着実に推し進め、白石市を「住みたいまち」、「住み続けたいまち」とし、「市民の笑顔あふれる白石」の実現を目指します。

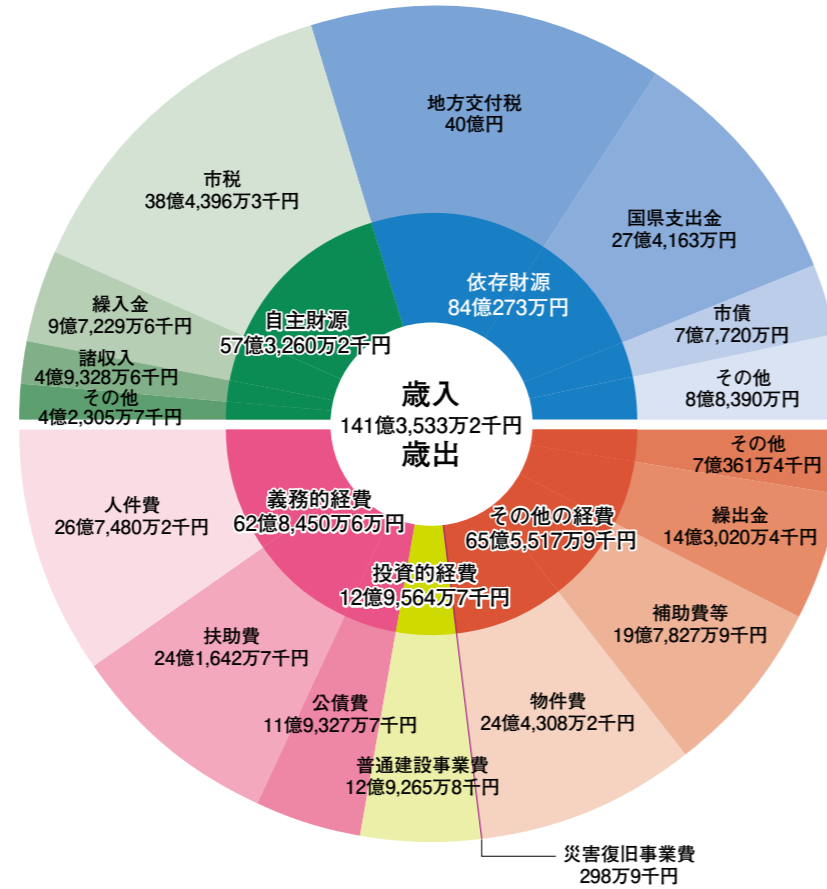
一般会計、特別会計、企業会計をあわせた予算総額は255億5,365万5千円で、前年度当初予算額と比較すると2.4%、6億2,318万5千円の減となりました。うち一般会計は141億3,533万2千円で、前年度と比較すると3.3%、4億8,578万3千円の減となり、4年連続のマイナス予算となりました。

なお、一般会計予算の内容はホームページでもご覧いただけます。

☎財政課 ☎22-1332

目的別グラフ

- 民生費 47億3,884万6千円 (33.5%)**
 - 保育園などの管理運営や子育て支援費 7億8,975万円
 - 障害者総合支援費 6億7,528万9千円
 - 子ども・心身障害児者医療費助成事業 1億9,987万円
 - 子育て支援・多世代交流複合施設運営事業 4,496万3千円
- 総務費 21億5,731万6千円 (15.3%)**
 - 市民バス運行管理事業 9,085万4千円
 - 定住促進事業 6,586万7千円
 - 第6次白石市総合計画・第3次白石市国土利用計画策定事業 1,595万1千円
 - 地域おこし協力隊推進事業 1,226万4千円
- 土木費 15億1,966万9千円 (10.8%)**
 - 中河原白石沖線街路事業 3億7,180万1千円
 - 公園施設長寿命化対策事業(益岡公園野球場改修工事) 8,000万円
- 衛生費 13億2,113万4千円 (9.4%)**
 - 白石市外二町組合に対する出資金、負担金、補助金 5億3,500万円
 - 予防接種事業 8,799万5千円
 - 母子保健事業(赤ちゃん応援事業) 3,172万6千円
- 公債費 11億9,327万7千円 (8.4%)**
- 教育費 11億8,725万7千円 (8.4%)**
 - 学校ICT機器使用料等 2,834万1千円
 - 学力向上プロジェクト事業 574万1千円
 - 小中学校トイレ洋式化事業 270万円
- 商工費 9億6,951万6千円 (6.9%)**
 - 農産物・加工品等食事提供施設等整備事業 1億6,000万円
 - 白石スキー場整備事業(辺地対策事業) 1億2,960万円
 - 6次産業チャレンジ法人支援事業 8,700万円
- 消防費 4億8,354万8千円 (3.4%)**
 - 消防施設整備事業(小型動力ポンプ・積載車) 1,505万4千円
- 農林水産業費 3億6,892万4千円 (2.6%)**
 - 有害鳥獣対策事業 3,696万8千円
 - しろいしの「食」ブランド化支援事業 287万9千円
- その他 1億9,584万5千円 (1.3%)**



【一般会計】

市の会計の中心となるもので、市行政運営の基本的な経費を計上した会計です。皆さんから納めていただく市税のほか、地方交付税をはじめとする交付金などを財源として、子どもから高齢者までだれもが安心して暮らすための各種福祉サービス事業、道路や公園などの都市基盤の整備、学校教育や生涯学習事業などを行います。

【特別会計】

特定の事業を行う場合、一般の歳入歳出と区分して経理する会計です。本市では3つの特別会計を設けています。

特 別 会 計	80億5,495万7千円
国 民 健 康 保 険	39億5,232万円
介 護 保 険	36億9,227万3千円
後 期 高 齢 者 医 療	4億1,036万4千円

【企業会計】

独立採算を基本とし、地方公営企業法が適用される公営企業の会計です。

企 業 会 計	33億6,336万6千円	
水 道 事 業 会 計	収益的支出	10億2,189万5千円
	資本的支出	3億4,882万5千円
下 水 道 事 業 会 計	収益的支出	10億 910万8千円
	資本的支出	9億8,353万8千円

歳入

皆さんに納めていただく市税は、市民税および固定資産税の増収などを反映し、前年度比1.2%、4,547万7千円増の38億4,396万3千円を見込んでいます。

地方交付税は、過去の交付実績などを踏まえ、前年度比2.4%、1億円減の40億円を見込んでいます。

国庫支出金は、防災・安全社会資本整備交付金の増加などで、前年度比2.2%、4,036万4千円増の19億880万6千円を見込んでいます。

県支出金は、参議院議員選挙費委託金の増加などで、前年度比4.2%、3,376万2千円増の8億3,282万4千円を見込んでいます。

なお、繰入金は各種施策の実施に当たって不足する財源を補うため、財政調整基金からの繰入金5億600万円をはじめ、合計9億7,229万6千円を見込んでいます。

歳出

「第五次白石市総合計画」に掲げた白石市の目指すべき姿を進めるため、「白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく、学校教育の充実、子育て支援、移住・定住の促進などに向けた各種施策をはじめ、市民生活に必須の行政サービスを安定的に提供できる予算配分とする一方、経常経費については、集中改革プラン【第4次改訂版】に基づき削減に努めるなど、選択と集中によるメリハリをつけた予算編成としています。

目的別で前年度と比べた増減の主なものは、総務費と土木費が増加し、衛生費と農林水産業費が減少しています。

総務費は、参議院議員選挙費の増加などで、前年度比5.0%、1億2,24万1千円増の21億5,731万6千円となっています。

土木費は、中河原白石沖線街路事業費の増加などで、前年度比7.2%、1億1,73万1千円増の

市債

市が道路の整備や施設の建設などを行う際の資金調達のための借入金で、財政負担が大きい大規模事業の実施にあたり、「財政負担の平準化」と「世代間の公平性の確保」などの機能があります。市債残高(平成31年度末)は、前年度末と比較して、3.1%、3億3,356万円減の105億9,012万2千円(うち臨時財政対策債52億6,344万4千円)を見込んでいます。

衛生費は、白石市外二町組合への繰出金の減少などで、前年度比19.8%、3億2,597万1千円減の13億2,113万4千円となっています。

農林水産業費は、農産物等販売施設整備事業費の減少などで、前年度比40.5%、2億5,095万7千円減の3億6,892万4千円となっています。